

阪神北地域新設特別支援学校（仮称）の整備について 住民説明会議事概要

令和3年4月17日（土）13時00分～14時55分 @川西市立北陵公民館

出席者：県教委・特別支援教育課：小俵課長、山下副課長兼整備班長、田中副課長

県土整備部営繕課：萩原営繕班長、三宅主任

兵庫県土地開発公社：告野技術専門員、伊藤建設株式会社：濃野工事部主任

川西市教育委員会：中西教育推進部長、岩脇教育推進部副部長

参加者：26人

- 配付資料等により、兵庫県営繕課、県教委特別支援教育課、伊藤建設株式会社、川西市教育委員会から説明（約50分）

● 質疑応答

【工事・建物に関すること】

Q) 開発許可はいつ受けるのか。避雷針は設置するのか。杭工事はするのか。

A) 建築設計と造成設計を並行して進めてきており、R3.3月に開発許可を受けている。避雷針は設置する。調査の結果、杭工事が必要であるため、プレボーリング工法という低騒音・低振動で環境に配慮した工法で行う予定としている。

Q) 道路との敷地境界から法肩・建物までの距離は。

A) 法肩までは約20m、建物までが約22mである。

Q) 沿道の住民に対して、場内工事も含めて工事工程を密に発信してもらいたい。

A) 承知した。詳細な工程は掲示して見える化に努める。説明会は、造成工事だけでなく建築工事前にも行う予定であり、その際に建築工事に関する工事工程や内容を説明する。

Q) 進入路の道幅は。駐車場の台数は。

A) 進入路については、歩車を分離し、歩道は約2m、車道は約6.5mとする。福祉のまちづくり条例に配慮し、歩道の勾配を1/12としている。駐車場台数は南側に10台程度、東側に34台程度、計44台程度整備予定である。

【車両の通行に関すること】

Q) スクールバスは何人乗りのバスを想定しているか。何台程度になるか。

A) 20人～30人乗りの小型～中型バス5～6台程度を想定している。バスの通行時刻は登校時間帯は概ね8時30分～9時頃、下校時間帯は概ね15時頃となる。

Q) スクールバスの想定経路として示されているカリヨン通りはかなり勾配がきつい。静かな住宅地なので、騒音や交通事故が心配である。

A) とても静かで閑静な住宅街だということは十分認識している。静かな環境を考慮してバスの導入車種などを今後検討するとともに、バスだけでなく工事車両や通勤車両が通行する際にも、スピードを極力押さえて走行するよう要請する。

Q) 教職員80人程度、また保護者送迎もあると考えるが、駐車場44台で足りるのか。路上駐車が心配である。

A) 教職員には公共交通機関での通勤を要請し、極力車通勤が少なくなるよう最大限配慮する。児童生徒は通常スクールバス、自力通学の生徒は路線バスで通学する。その他送迎車両についても、住宅地へ迷惑とならないよう周知徹底する。

Q) 工事開始時間と作業員の集合時間は、作業員は何人程度か。工事車両と作業員の車が登校時間などと重なるのではないか。

A) 作業員は7時30分頃集合し、工事は8時開始予定。造成工事では1日10人程度である。建築工事では、工事時期により人数が変動する。特に躯体工事、内装工事、設備工事が並行する時期には多くの人数が来ることになる。建築工事前の説明会でご説明する。

A) 車両の通行については、通学時間帯前に作業員が入場し、通学時間帯後に工事車両が通行する計画としている。

Q) 工事車両が多数通行することで、渋滞が懸念される。

A) 大型車両が一度に通行することのないよう、日数・時間帯ともに分散させる計画としている。

【開校後のこと】

Q) 特別支援学校の完成まで、地域として協力したい。その上で、完成後の地域交流として、運動場やプールは地域にも開放されるのか。

A) 学校の教育活動の利用が優先になるが、体育館やグラウンドは地域の住民の方にも利用していただけるよう検討する。また、カフェスペースを校舎の中に整備する予定で、生徒が住民の皆様を接客するような職業実習など地域と連携した教育活動や地域に貢献できる取組等を行い、交流を深めることにつなげたいと考えている。

加えて、十分な耐震性を備えた建物になるため、災害時の避難場所として川西市からの要請があれば協力してまいりたい。

Q) 警備や授業のある間の校門の施錠管理はどのようになるか。

A) 警備員が常駐することはないが、機械警備・防犯カメラを設置する。

通学時間帯以外は校門を電気錠で施錠する。外部からの来訪者にはインターホンで呼んでいただき、カメラで確認した上で解錠する。

【その他】

Q) マンホールのがたつきを補修するとのことだが、コーキングの補修ではこれまでも直っていない。マンホールの蓋が規格外のものもあり、がたついている。

A) 技術的なことであるため、持ち帰って他の方法も含めて検討する。

Q) カリヨン通りのグレーチングの補修状況はどうか。

A) 調査の結果、受枠の不具合はなく、ボルト止めの緩みが見られたため、ナット全箇所の締め直しを行った。またその際、側溝内の浚渫を実施し、落ち葉やゴミなどを撤去した。

Q) 国道173号線に出る三叉路への信号設置はどうなったのか。

A) 昨春秋、近隣での市施設整備の際に川西市から警察に信号機の設置を要請したが、警察において交通量や県内での優先順位等の諸条件が検討された結果、整備に至らなかった経緯があり、市による道路標示や反射鏡などの安全設備の拡充を実施した。今後の状況の変化も踏まえて、引き続き警察に要望を挙げることを検討する。

Q) 工事作業員が早朝に集まって路上駐車をしたり、路上や近隣の駐車場でエンジンをかけたまま仮眠を取ったりしないようにしてほしい。

Q) 近隣施設の機械警備のアラームや火災報知器が、誤作動等で鳴ったことがある。特別支援学校で何かあった場合、随時自治会に状況を知らせてほしい。住民は何があっても対応したのかが分かれば安心できる。

Q) 工事中に何かあった場合の窓口を教えてください。

A) 学校全般のことについては、兵庫県教育委員会特別支援教育課（078-341-7711（内線5839））にご連絡いただければ、責任を持って対応する。

造成工事の内容については、伊藤建設株式会社（0797-72-1768）にご連絡いただきたい。